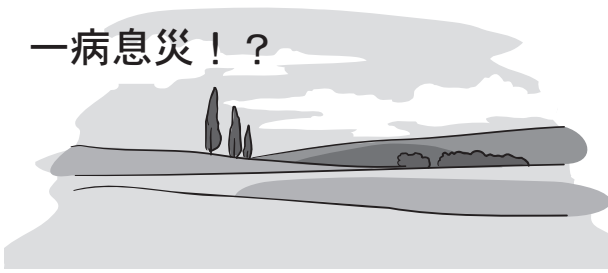


一病息災！？



上川北部医師会
たに内科クリニック

谷 光 憲

開院して早いもので11年半が過ぎた。幸い、職員の出入りも寿退職以外ほとんどなく、他にも大きなトラブルもなくやってこられたことに、職員や妻である事務長に感謝、感謝である。

しかし、昨年11月末に胸焼け、咳が続き、同門の先輩に上部内視鏡検査を施行してもらったところ、十二指腸下行脚に15mm大の陥凹性病変を認め、生検したところ12月初旬にGroup3との結果。さらに、抗生剤を服用するも咳が一向に改善しないため、名寄市立病院呼吸器内科を受診したところ、中等度の肺炎とのこと。幸い、プレドニンと抗生剤を短期間併用することで、徐々に症状が改善した。

年が明けて、今年の1月中旬に札幌の病院に入院して、十二指腸腫瘍に対してESD施行。手術後穿孔を生じたが、1週間絶飲絶食にて何とか改善して2週間で退院。入院中は、近隣の二人の先生に代行していただき、休診にすることなく診療を継続。

退院して間もなくの2月初旬に、高校まで甲子園を目指し野球漬けの高校生活、さらに大学を中退して浪人していた三男に、医学部合格の通知が届いた。たまたま講演会で旭川に出かけていて、帰りのタクシーの中で妻からの歓喜の電話に、夫婦して泣いた。運転手も私が電話で話しながら涙声になっているのを不思議がり、彼に息子の合格を告げると、共に喜んでくれた。

退院後一番辛かったことは、術後の絶飲絶食よりも術後2ヵ月間の禁酒が辛かった。退院祝いと息子の合格祝いをするために、妻と行きつけの寿司屋に行った。そのカウンターで妻が美味しそうに飲むビールとワインを横目に、お茶しか飲めないのは本当に辛かった。幸い、今は二人で美味しくお酒を頂いている。

術後に体重が5kg落ちて体力が落ちたのか、毎日疲れを感じながら診療をこなしている。あらためて、診療には体力と気力が必要なことを痛感する。これを機に、体重を増やさないために、最近週1回を目標にジムに通うようにしている。さらに、妻と週1回程度ゴルフを行ってストレス発散。彼女は職員と4年前からゴルフを始めたが、最近では110程度のスコアで回るようになって、うかうかすると抜かされてしまうのではないかと最近心配になってきている。

今後、高校および大学の体育会系クラブで鍛えた体力を過信せず、そして無理をせず、スタッフに助けをもらいながら毎日の診療をこなしていこうと思う今日この頃である。

また、15年前に衝動買いしたサックス（一度、妻に粗大ゴミとして捨てられそうになったが）を習いにヤマハ音楽教室にでも通ってみようとか、5年前に買ったレース用の自転車も手入れして乗ろうと考えている。

残りの3分の1の人生？を元気に過ごすには、今をどう過ごすかが大事なんだろう。

『一病息災！』とは、このことか！？

